



予防救急だより

冬号（第33号）
発行：消防救急課
（51-3101）



昨年度のインフルエンザによる救急搬送人員は、200名でその内約37パーセントが、入院されました。特に高齢者は重症化しやすいため注意が必要です。

【令和6年度統計】

搬送された人の約65パーセントが65歳以上

合併症（特に※肺炎！）に注意が必要です。
※肺炎は死因の第5位



冬号のトピックス

今回のテーマはインフルエンザです。
冬を代表する病気、その予防策は？
裏面へGO！！



ワクチンを接種すれば、インフルエンザにかからない訳ではない

インフルエンザワクチンは、感染後に発病する可能性を低減させる効果と発病した場合、重症化防止に有効と報告されています。

インフルエンザは予防が大切！

インフルエンザの予防策

ポイント1・流行前のワクチン接種

ポイント2・こまめな手洗い



流水・石鹸による手洗いは、感染対策の基本です。

インフルエンザウイルスには、アルコール消毒液による手指の消毒も効果があります。

ポイント3・適度な湿度の保持

湿度が低いと喉が乾燥し、インフルエンザにかかりやすくなります。

特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使い適切な湿度（50～60％）を保つことが効果的です。



ポイント4・十分な休養と栄養摂取

からだの抵抗力を高めるために、十分な栄養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がけましょう。

ポイント5・人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や基礎疾患のある方は、人混みや繁華街への外出を控えるのも一つの手です。

やむを得ず外出する場合は、ある程度飛沫感染を防ぐことのできる不織布製マスクを着用することが防御策の一つとなります。



Live119 映像通報システム映像で素早く伝える
119番通報 詳しくは、通信指令課ホームページまで！



★通信指令課 HP

AICHI-TOYOHASHI
Fire-Department

